

ぎよぎょう いっぱん

ぎよぎょう あんぜん

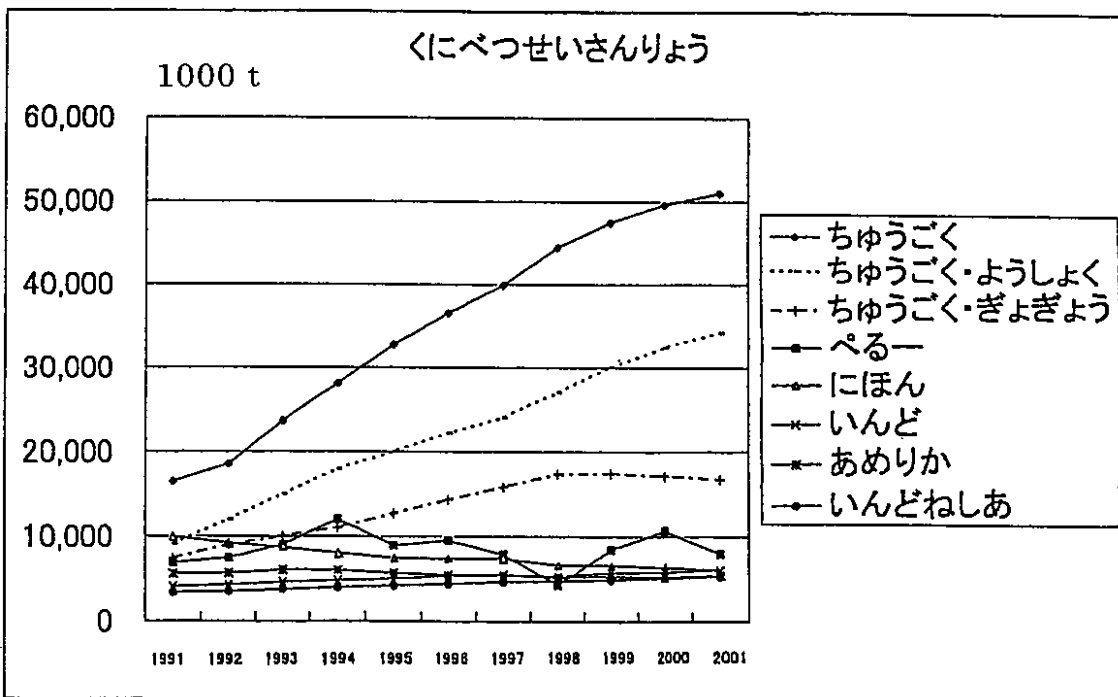
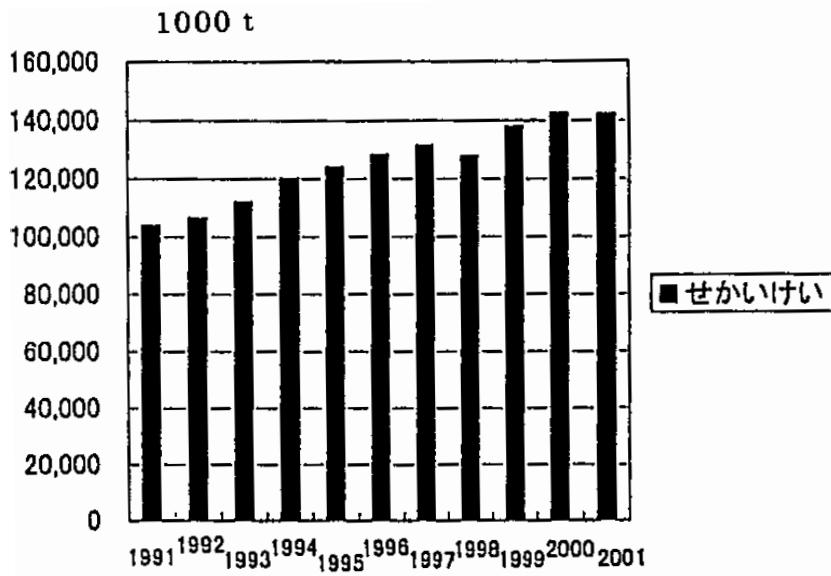
[がいこくじん ぎのうじっしゅうせい よう きょうざい]

だいにほんすいさんかい

## もくじ

1. せかいの ぎょぎょう せいさんりょう
  2. にほんの ぎょぎょう せいさんりょう
  3. にほんで とれる おもな さかな
  4. ぎょせん
  5. ぎょせんの のりくみいん
  6. にほんの ぎょぎょう
  7. あんぜん
  8. ふねの なかの きまり
  9. まーく (しるし)
  10. ろーぷの むすびかた
  11. こんぱす、かいず、こうほう
  12. かいりゅう、たいりくだな、たいふう、つなみ
  13. ぎょぎょう ようご
- しげんを たいせつに

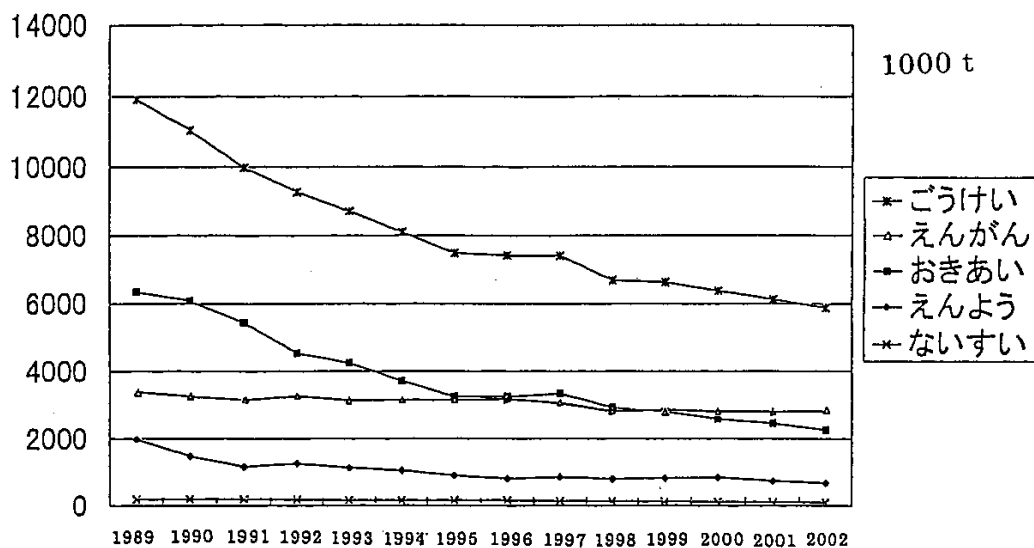
1. せかいの ぎよぎょう せいさんりょう



2001ねん げんざいは 1.4おくとん (140,000,000t) を こえています。

せいさんりょうの おおい くには、ちゅうごく にほん いんどねしあ  
ぺるー いんど あめりか などで。

## 2. にほんの ぎよぎょう せいさんりょう



にほんの ぎよぎょうには、えんがんぎよぎょう おきあいぎよぎょう えんようぎよぎょうが あります。

- えんがんぎよぎょう

えんがんで ちいさな ぎよせんで おこなう ぎよぎょうです。  
ていあみや ようしょくぎょうも ふくまれます。

- おきあいぎよぎょう

おもに にほんの 200かいり (まいる) すいいきのなかで  
そうぎょうする ぎよぎょうです。

- えんようぎよぎょう

おもに にほんの 200かいり (まいる) すいいきのそとで  
そうぎょうする ぎよぎょうです。

2002ねんの ぎよぎょうせいさんりょうは

えんがんぎよぎょう 282.2まんとうん (2,822,000t)

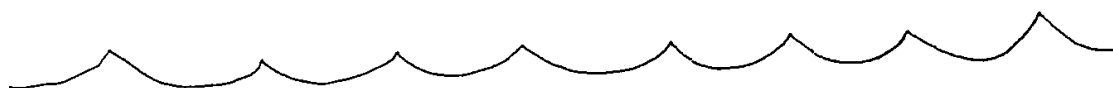
おきあいぎよぎょう 225.8まんとうん (2,258,000t)

えんようぎよぎょう 68.6まんとうん (686,000t) です。

1989ねんから にほんの ぎよぎょう せいさんりょうは へっています。

3. にほんでとれる おもな さかな

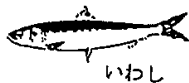
かいめん (うみの ひょうめん)



かつお



めかじき



いわし



まぐろ



さけ



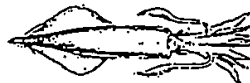
あじ



ぶり



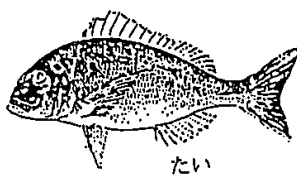
さば



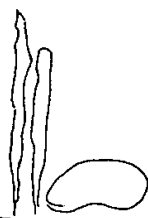
いか



すけとうじら



たい



かれい

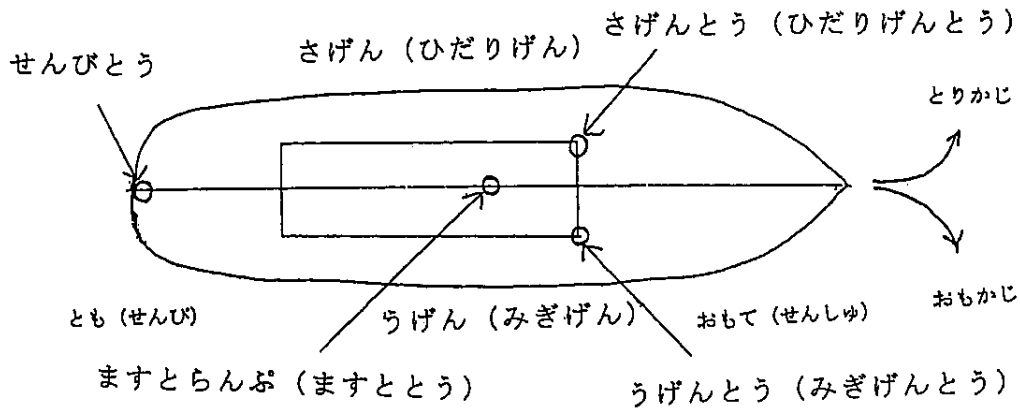
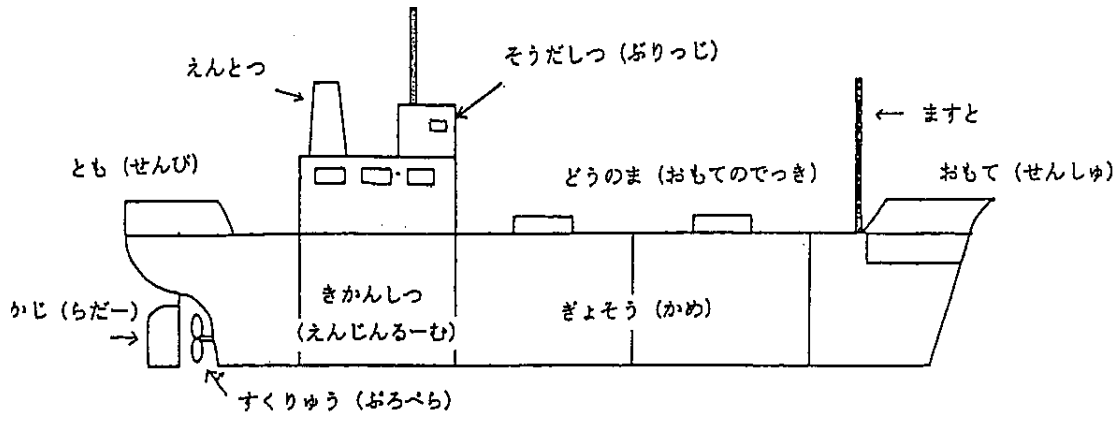


たこ

かいてい (うみのそこ)  
ちかくにいるさかな

かいてい (うみのそこ)

#### 4. ぎよせん



おもかじ	: かじを みぎに とる
とりかじ	: かじを ひだりに とる

#### こうかいとうの いろ

ますとらんぷ (ますととう)	: しろ
せんびとう	: しろ
さげんとう (ひだりげんとう)	: あか
うげんろう (みぎげんとう)	: みどり

#### ふねの ゆれかた

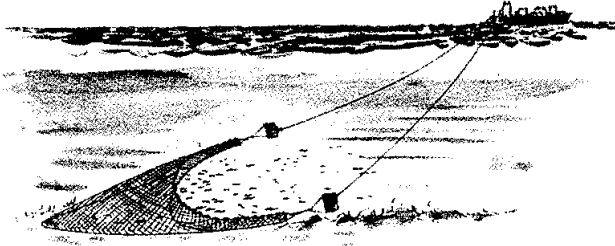
たてゆれ	: ぴっちんぐ
よこゆれ	: ろーりんぐ

5. ぎよせんの のりくみいん

ぎよろうちょう (せんだう)	そうぎょう ぜんたいの せきにんしゃ です。 せんちょうが ぎよろうちょうを かねることも あります。
せんちょう	ふねの うんこうの せきにんしゃです。
きかんちょう	えんじん れいとうきなどの せきにんしゃです。
こうかいし	せんちょうを たすけ、ふねの うんこうの しごとを します。
きかんし	きかんちょうを たすけ、きかいの かんりを します。
つうしんちょう	むせんつうしんの せきにんしゃです。
こうはんちょう	こうはんいんの しきを します。
れいとうちょう	さかなの しりや れいとうこの かんりを します。
しちゅうちょう (こっくちょう)	しょくじを つくります。
こうはんいん	ふねの とうちよく、こうはん(でつき)の さぎょう、ぎよろうの さぎょう、れいとうの さぎょうなどを おこないます。
きかんいん	きかんの さぎょうのほか、ぎよろう れいとうの さぎょうなどを てつだいます。

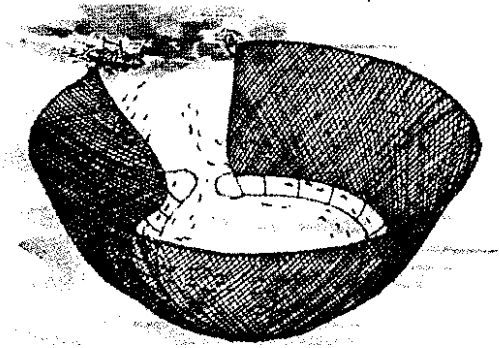
6. にほんの ぎょぎょう

にほんには いろいろな ぎょぎょうが あります。



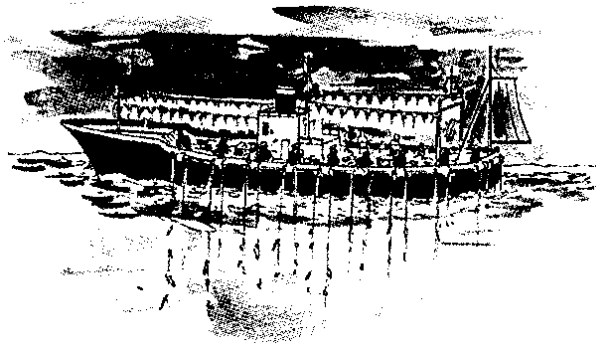
そくびきあみ：

あみを ふねで ひいて うみの  
そこに すむ さかなをとります。



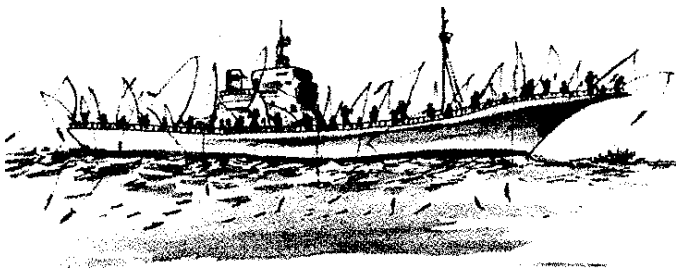
まきあみ：

さかなを あみで まいて とり  
ます。



いかつり：

ひかりで いかを あつめ じど  
ういかつりきで つります。

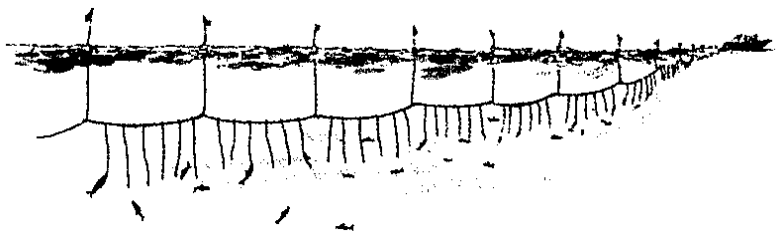


かつおいっぼんづり：

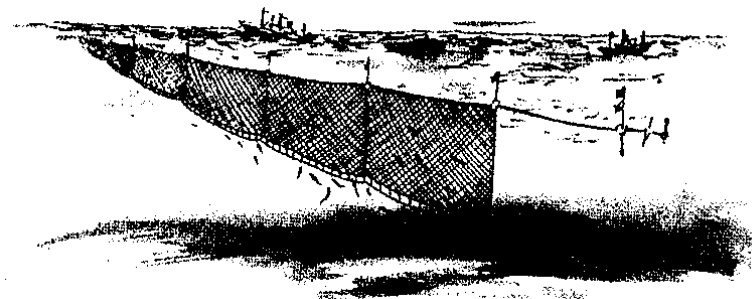
かつおの むれをさがし さおで  
つります。



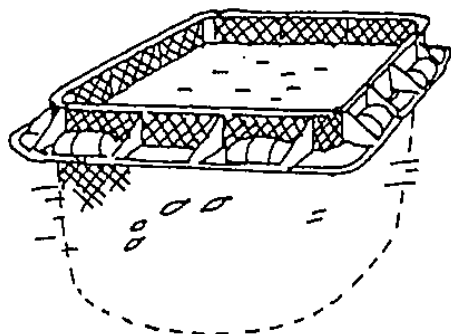
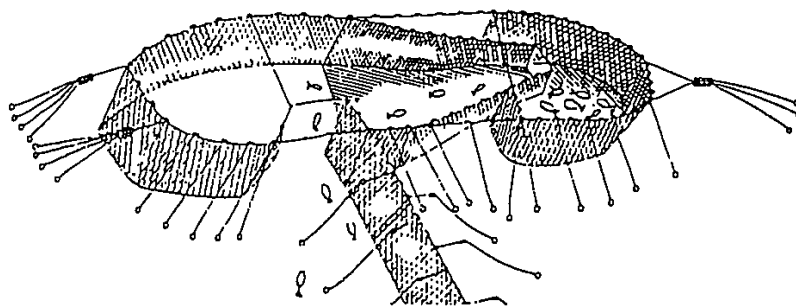
まぐろはえなわ：ながい はえなわで まぐろや かじきを つります。



ながしあみ：ながいあみを かいめんちかくに ながして さかなを とります。



ていちはみ：さかなの とおりみちに あみをはり、はいつた さかなを とります。



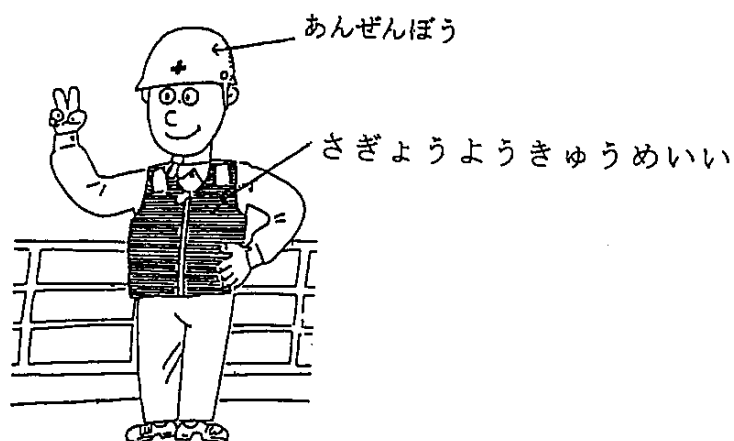
ようしょくぎょう：  
いけすに さかなを いれ、えさを あ  
たえて おおきく してからとります。  
かいや かいそうの ようしょくも  
あります。

## 7. あんぜん

### ふくそう

・こうはん（でつき）での さぎょうでは、かならず さぎょうよう きゅうめいいを きます。

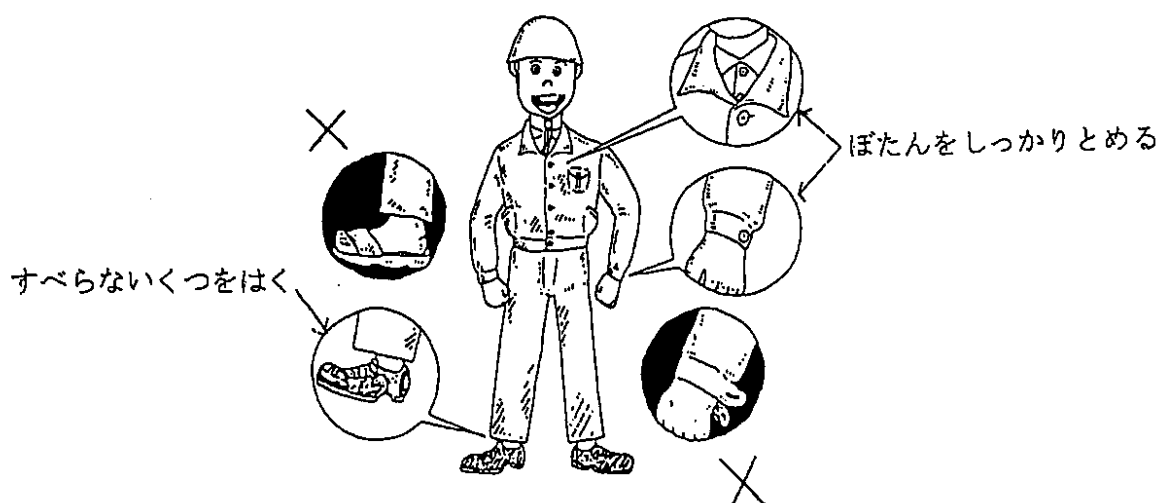
・あたまを まもるため あんぜんぼう（へるめつと）も かぶります。



・たかいところや ふねのそとに からだを のりだして さぎょうをするときは、あんぜんべるとや いのちづなを つかいます。

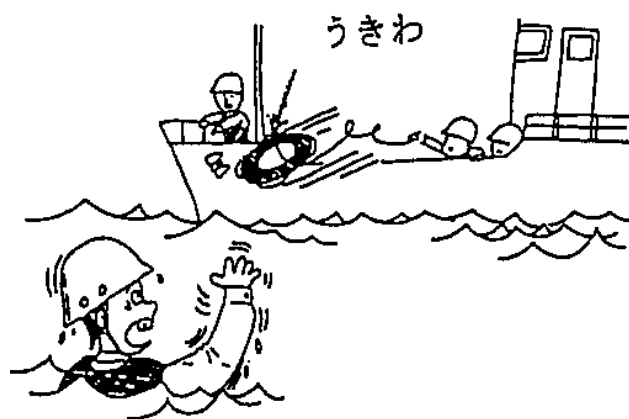
・うごいている きかいに まきこまれないよう きちんと ふくを きます。

### きちんとかぶる



ふねの なかで ちゅういすること

- ・こうはん（でつき）が あぶらや さかなの ちで すべるときは そうじ します。
- ・こうはん（でつき）に こぼれた さかなが すかっぱーに つまらないよ うに きをつけます。
- ・はっちの ふたは ただしく しめなければ いけません。  
よくしまっていない ふたの うえに のっては いけません。
- ・ひとが うみに おちたのを みたら、おおごえで しらせ うきわなど う くものを うみに なげます。



- ・ふねの なかは せまく ゆれるので、あしもとや あたまの うえに ち ゅうい します。
- ・うごいている きかいや あみ ろーぷなどには じゅうぶん ちゅういし ます。
- ・くらいとき ふねに のったり おりたりするときや ほかの ふねに の りうつるときは とくに ちゅういします。  
あゆみいたを わたるときも ちゅういします。
- ・くれーんで おもいものを つりあげるときは、にもつの したに ひとが いないことを かくにんします。

## 8. ふねの なかの きまり

・ふねの なかの こうどうは せんちょうや ぎよろうちょうの しじに  
したがいます。

・しごとを なまけたり ほかの のりくみいんの しごとの じゃまを し  
てはいけません。

・せんちょうや ぎよろうちょうの ゆるしを もらってから じょうりくし  
ます。

・せんないの しょくりょう (たべもの) みず (のみみず) は たいせつに  
つかいます。

・ひを つかう ばあいには じゅうぶん ちゅういします。

・せんちょうや ぎよろうちょうの ゆるしを うけないで、せんないに も  
のを もちこんだり、せんないから ものを もちだしたり してはいけませ  
ん。

・せんないで のりくみいんと けんかや あらそいごとを してはいけませ  
ん。

・せんないで まーじゃん かーどなどで かけごとを してはいけません。

・しらない ひとから かねや しなものを うけとっては いけません。

9. まーく (しるし)

・したの まーく (しるし) は 「ひを つかっては いけない」 ところを しめして います。



- ・あかい まーく (しるし) の ある ぱいぷ・・・あぶら
- ・みどり まーく (しるし) の ある ぱいぷ・・・かいすい (うみの みず)
- ・あおい まーく (しるし) の ある ぱいぷ・・・みず (のめる みず)



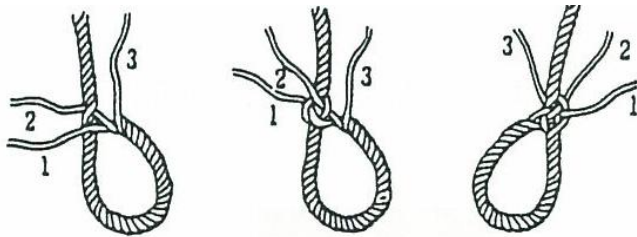
・したの まーく (しるし) は 「ちゅうい する」 ところを しめして います。



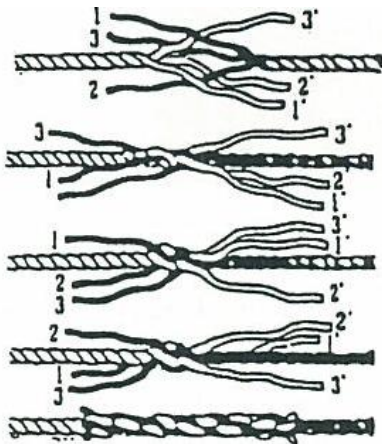
・とらろーぷ (きいろ と くろに ぬられた ろーぷ)  
したの ろーぷは あぶないところを しめして います。



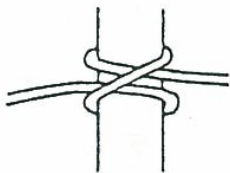
10. ろーぷの むすびかた



あい・すふらいす：  
ろーぷの はしに わを つく  
る ほうほうです。



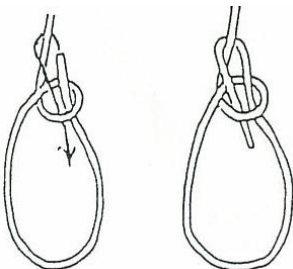
しょーと・すふらいす：  
おなじ ふとさの ろーぷを むすぶ ほう  
ほうです。



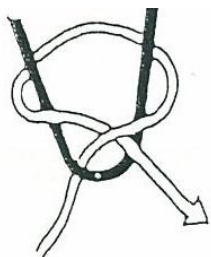
まきむすび：  
ろーぷの はしを ほかの ものに むすぶ ほうほうです。



ほんめむすび：  
2ほんの ろーぷを かんたんに む  
すぶ ほうほうです。



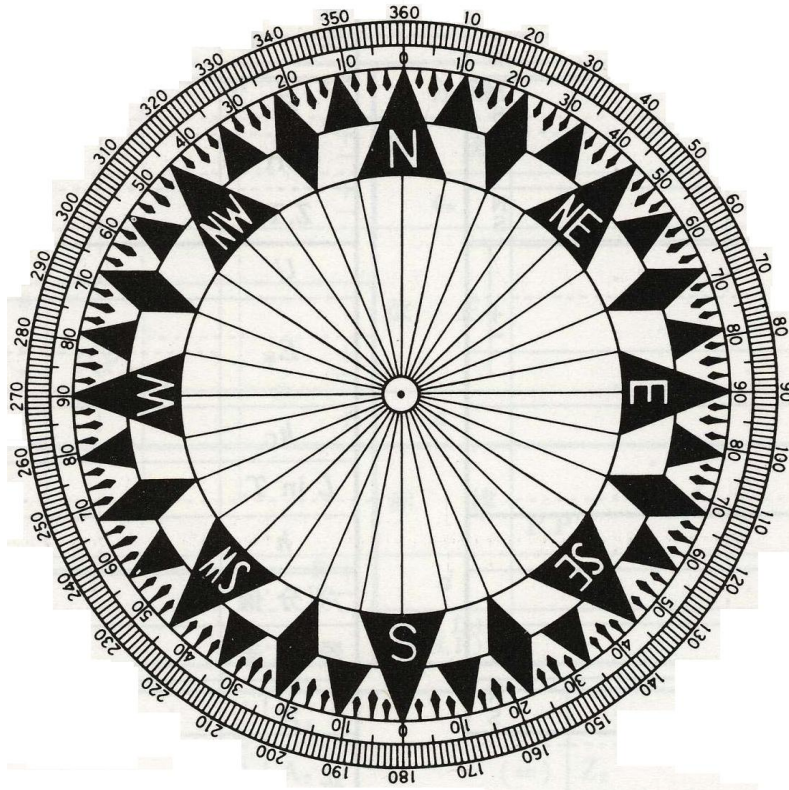
もやいむすび：  
ふねを とめるときなどに つかう たいせつな むすびか  
た です。



かえるまた：  
むすびめが ほどけにくく あみを あむと  
きに つかいます。

## 11. こんばす、かいず、こうほう

### ○こんばす



こんばすは ふねの いちをだしたり、こーす（しんろ）を きめたりする  
たいせつな どうぐです。

おもなところに ろーまじで まーくが かいてあります。

N : のーす（きた）

E : いーすと（ひがし）

S : さうす（みなみ）

W : うえすと（にし）

NE : のーいーす（ほくとう）

SE : さーいーす（なんとう）

SW : さーうえす（なんせい）

NW : のーうえす（ほくせい）

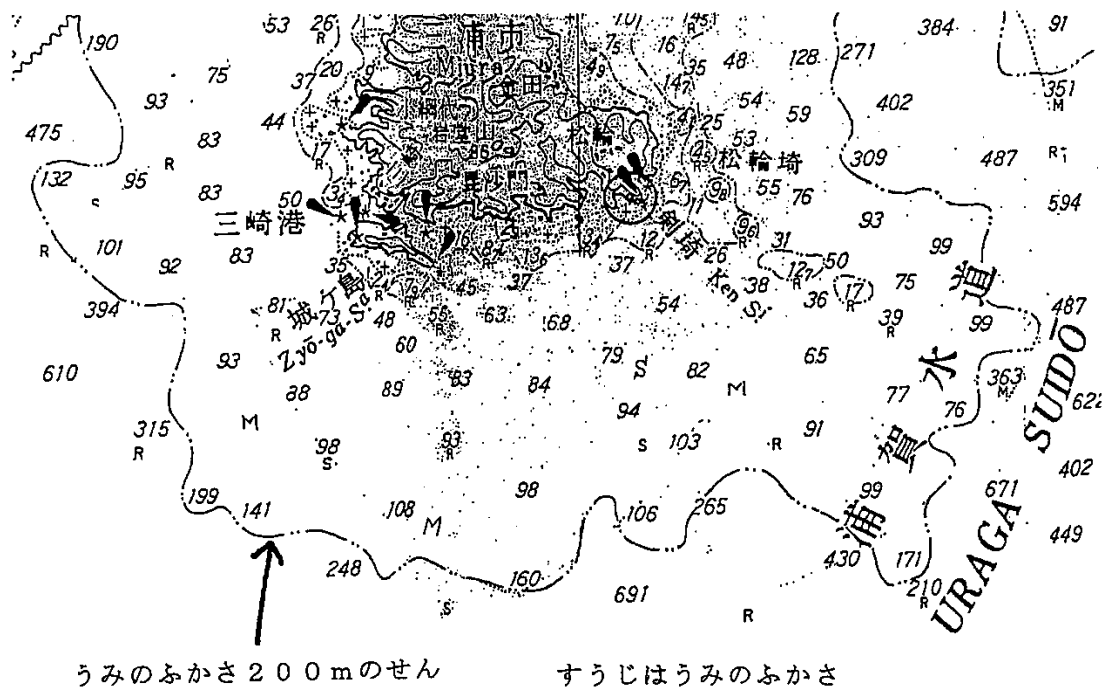
○かいず

かいずには うみの そのようす (ていしつ) も かいてあります。

S : すな

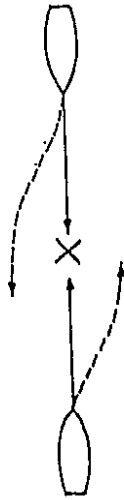
M : どろ

R : いわ

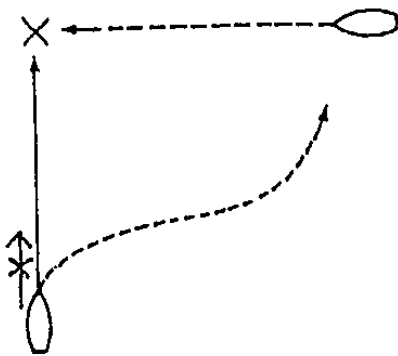




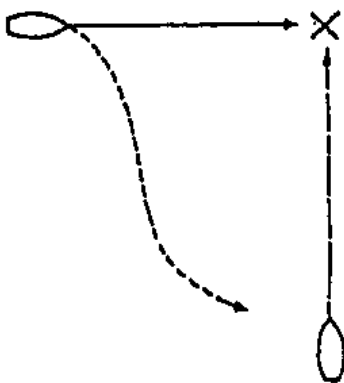
○こうほう



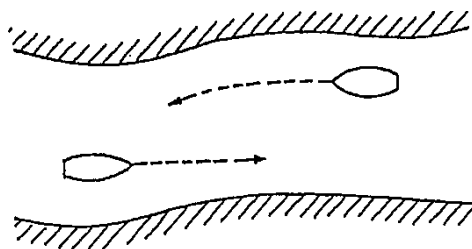
・しょうめんから ふねが きたときは みぎに かじをとって よける。



・まえを よこぎる ふねが きたときは、そのふねが みぎに みえたときには みぎに かじをとるか、そくりよくをおそくして よける。



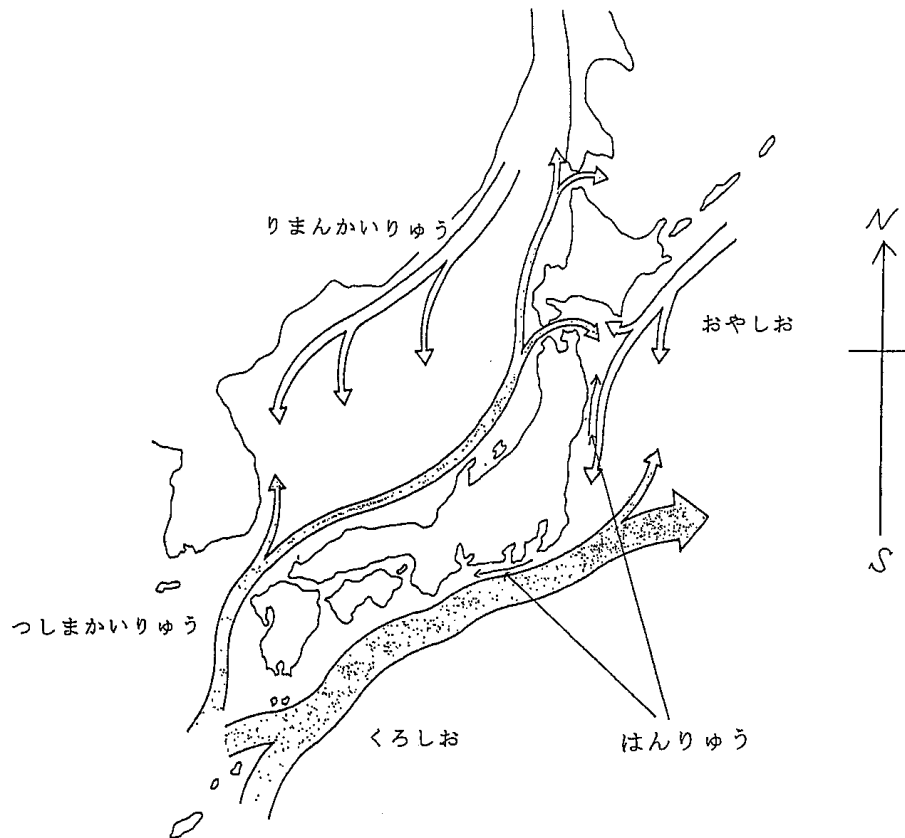
・ひだりの ほうから まえを よこぎる ふねが きたときには、そのふねが よけるので まっすぐにすすむ。あいての ふねが ただしくよけるか どうか じゅうぶん きをつける。



・せまいところを とおるときには みぎがわを とおる。

## 12. かいりゅう、たいりくだな、たいふう、つなみ

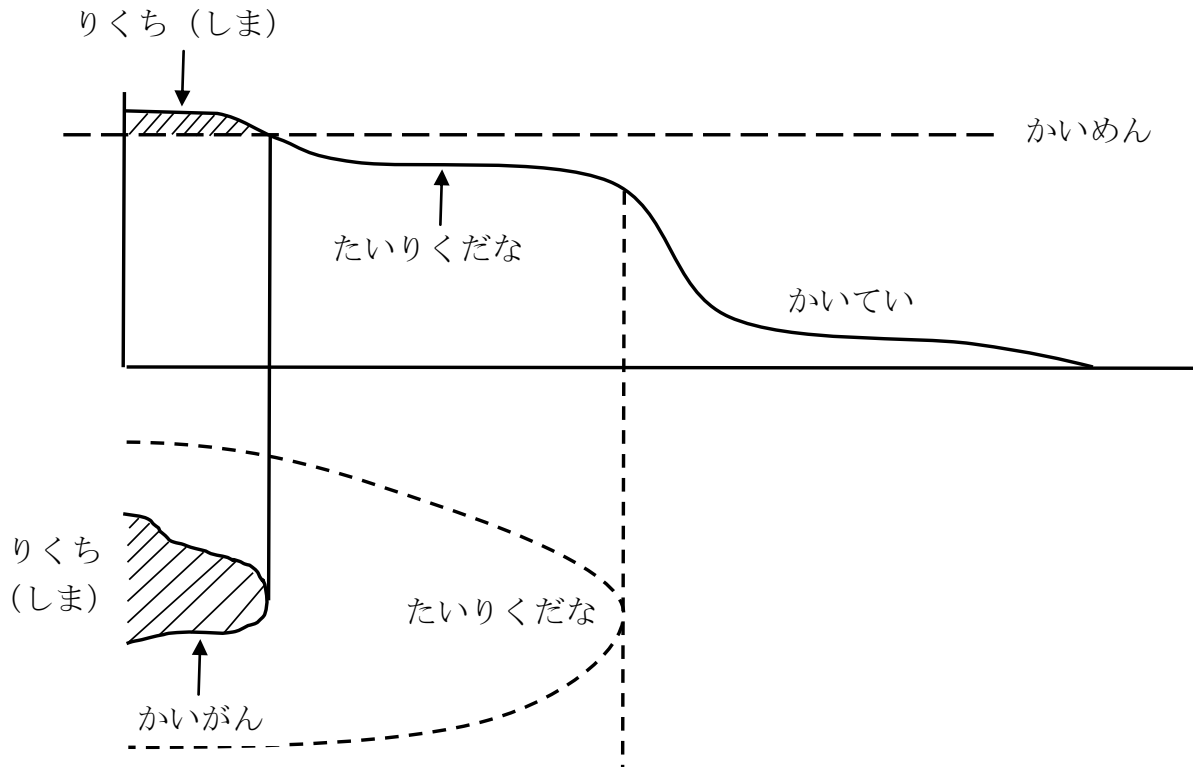
### ○かいりゅう



- ・くろしおは みなみからくる あたたかい つよい かいりゅうです。
- ・おやしおは きたからくる つめたい かいりゅうです。
- ・えんがんで おきの おもな かいりゅうとは はんたい ほうこうの ながれがあり、これを はんりゅうと いいます。

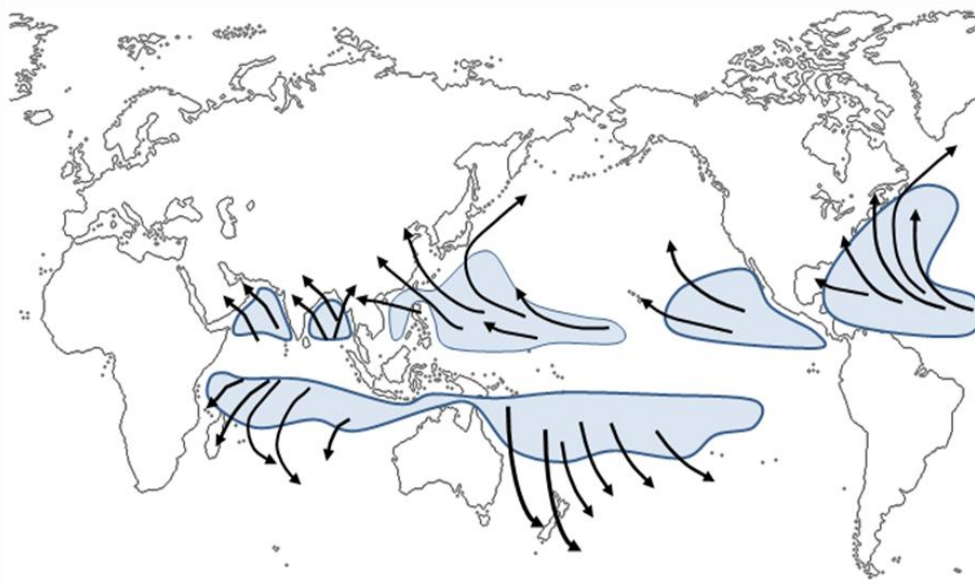
○たいりくだな

・しまや たいりくの まわりは たいらな あさいうみに かこまれていま  
す。そのばしょを たいりくだな といいます。



・たいりくだなは くににとって たいせつな ばしょであり、よい ぎよじ  
ようも できる ところです。

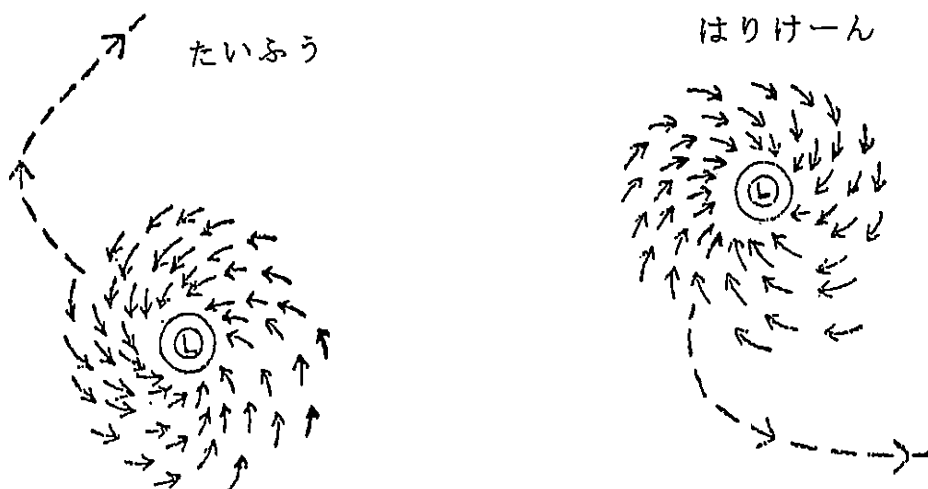
## ○たいふう



・ねったいにおきる つよい ていきあつは、せきどうを はさんで きたにおきるものを「たいふう」、みなみでおきるものを「はりけーん」とよびます。

・つよいかぜと たかいなみをおこすので、てんきのようすに よくきをつけなければ なりません。

・にほんの ちかくにくる「たいふう」と おーすとらりあの ひがしにできる「はりけーん」とは、かぜの ふくほうこうが はんたいなので きをつけなければ なりません。



## ○つなみ

・じしんが あったら すぐ にゅーすを たしかめます。

・とおいところで おきた じしんでも きをつけます。

(みなみあめりかで おきた じしんで つなみが、にほんにも きたことがあります。2004ねんに いんどねしあの すまとらおきで おきたじしんによる つなみが、いんどようを こえて あふりにまで たっしていません。)

・つなみがくるかもしれないとき

こうかいちゅうは ぜんそくで おきにはしります。

みなとに ついているときは すぐに えんじんをかけて おきに はしります。(いそぐときは いかりも もやいづなも すててはしります)

ふねを うごかせないときは すぐにおりて たかいところや じょうぶな びるなどの うえに にげます。

(かいがんに いるときも おなじです)

・つなみは なんかいも くるので きをつけます。

1883ねん いんどねしあの くらかとあかざんの だいぼくはつときも おおつなみが きているので、うみに ちかい かざんの ぼくはつにも きをつけます。

### 13. ぎよぎょう ようご

あかしお：みずのなかで ぷらんくとん（とくに しょくぶつぷらんくとん）が ふえすぎ、みずのいろが あかや ちゃいろに かわることを あかしおと いいます。ふえた ぷらんくとんは すいちゅうの さんそを おおくつかい、また さかなの えらに つまるなど するので さかなや かいが しんでしまい、ぎよぎょうに おおきな えいきょうを あたえます。

えいようえん：えいようえんとは せいぶつが 生きるために ひつような ちっそ（N） りん（P） けいそ（S i）などを いいます。

ふえいようか：ふえいようかとは みずのなかで ちっそ（N） りん（P） けいそ（S i）などが ふえすぎる ことです。げんいんは これらを おおく ふくむ こうじょうや かていの みずを すてることに よります。

しおめ：ふたつの ちがった かいりゅうが ぶつかりあっている ところで。そこでは さぎなみが たっていたり、ごみ ながれも ぷらんくとんなどが あつまっているの で めでみて わかります。しおめの りょうがわでは、すいおん みずのいろなど みずのせいしつが きゅうに かわって います。さかななどが たくさん あつまり よい ぎよじょうと なります。

かいようおせんぼうし：うみに あぶら つち ぷらすちつく ごみなどの つかわなくなった ぎよぐを すてると うみが よごれて しまいます。よごれを ふせぐため、これらのものをうみに すててはいけないことが ほうりつで きめられています。

ゆうしょうりゅう：ゆうしょうりゅうとは うみのそこのほうの みずが かいめん に あがってくる ことです。かいめん に あがってきた みずは すいおんが ひくく えいようえんが おおいため ぷらんくとんが おおくあつまり よいぎよじょうと なっています。

うおつきりん：さかなを そだて あつめたり ぎよじょうの かんきょうを まもるために つくられた もりや はやしを うおつきりんと いいます。まんぐろ一ぶの はやしも ぎよじょうの かんきょうを まもるために じ

ゆうようです。

かिसいの えんぶん：かिसいに ふくまれている しおなどの りょうのことです。かिसい 1,000 ぐらむ (1,000g) ちゅうの ぐらむすう (%・ぱーみる) で あらわします。えんぶんの りょうは ふつうの うみでは やく 33~37% (33~37g/1,000g) です。

### しげんを たいせつに

にほんでは さかなを とるだけでなく しげんかんりや さいばいぎょぎょうにも とりくんでいます。

しげんかんりは さかなを とりすぎないように いろいろな くふうを することです。

たとえば とるりょうを さいげんしたり ちいさな さかなを とらない ように することです。

さいばいぎょぎょうは しげんを ふやすために にんげんが しゅびょう (さかなの こども) を つくって うみに はなし、おおきくなってから それを とるものです。